令和６年度大阪府アレルギー疾患対策連絡会議（概要）

１　日時　　令和7年2月17日（月）１８時３０分～

２　場所　　大阪府庁本館５階 正庁の間

３　議事

(１) 大阪府におけるアレルギー疾患対策の現状

(２) 病院連絡会議での議論を踏まえた取組

(３) 次年度の取組等

　　 前回開催に引き続き、本会会長である東田委員により議事進行

４　委員からの意見要旨

1. 議事(1)について

【意見要旨】

○市民公開講座についてはスポンサーが離れていっている状況であり、予算の確保が課題

　大阪府としてはどのように考えているか。

→(事務局)更なる予算の獲得は容易ではない状況。国庫補助もある事業のため補助率の引き上げ等について国に対して意見するなどしている。また、公民連携についても模索しているが、過去と同じ規模の開催は難しい状況。

○拠点病院への委託事業については、府の予算の枠の中で対応頂いている状況であるか。

　また、この委託料には広報の費用も含まれているのか。

→(事務局)一部の拠点病院については持ち出しが生じていると伺っている。また、委託料には、広報も含めて、委託事業の実施に必要な一切の経費が含まれている。

○研修会については、ウェブ開催、オンデマンド配信等を活用することが効果的と考えられるが如何か。

→(事務局)ウェブ配信の方が参加者を多く集めている状況である。また、オンデマンド配信については、技術的なことも含めて検討が必要。

○動画を配信する際は、短くまとめたものを出すことが効果的と考えられる。

○SNSでの情報発信について、LINEでの配信を検討された方がよい。

→(事務局)使える可能性はある。検討させて頂く。

1. 議事(2)について

　　　　【意見要旨】

○事務局から説明のあった「連携推進のための勉強会」について補足させて頂く。

　第一回については、アレルギー疾患のエキスパートである拠点病院、協力病院においても困っている問題についてディスカッションをさせて頂いた。テーマとして、成人の食物アレルギーが設定され、資料にある４症例が挙がったもの。

　第二回については、ぜん息とアトピーについては裾野を広げると言いながら、なかなかうまく出来ていないという話題が常にあり、昨今は、高額な薬を患者教育なしに導入するという例も多くあり、これは医療経済的にも良いことではない。これらの点について、一般の医療機関の方に啓発を行い、連携を深めたいという主旨で開催を予定しているもの。

○第二回目の勉強会について、どの状況になったら拠点病院等に紹介する必要があるのかという見極めの視点を入れて頂くと、一般の開業医の方には参考になると思われる。

　　　　〇第二回目の勉強会については、WEB配信を検討された方がよい。

　　　　→(事務局)対応させて頂く。

　　　　〇広報についての議論が多く出ており、周知の方法というのは非常に重要。自身の所属団体

の会議においても、本会議での議論を改めて伝えさせて頂く。

　　　　〇広報の方法によって参加者数は変わると思われるが、今後の広報展開について具体的な

案はあるか。

　　　　→(事務局)具体的な案は無いが、他府県においては研修会の広報を大々的に行っている例も

ある聞いており、それらの事例も参考に、使える媒体は全て使うという姿勢で取り組む。

　　　　○予算の制約があるので、職員の動員等、人海戦術も含めてやっていくこと必要。

　　　　○第二回目の勉強会についてチラシを各団体へ展開頂いているが、もう少し具体的に書い

て頂くと興味を惹くと思われる。また、広報の手法として、医療機関職員が使うSNSの

利用を検討されると良いと思われる。

1. 議事(３)について

【委員意見なし】